

平成23年度 東通村消防団定期観閲式



観閲者の越善村長

4月29日(金)、村体育館駐車場において、濱端源三団長指揮のもと、村内20分団348名に加え、砂子又婦人消防クラブ、特別参加の下北試験場消防隊が一斉に整列し、越善靖夫村長の観閲を受けました。

式では、去る3月11日に発生した東日本大震災の犠牲者と住民の避難誘導等の活動中に亡くなられた消防団員の方々への黙祷が捧げられ、その後、現況報告・通常点検に続き、勇壮な纏(まとい)振り演技、迅速・正確なポンプ操法が行われ、日頃の訓練の成果が披露されました。

又、永年消防活動にご尽力された団員をはじめ、災害時にご協力をされた一般協力者に対し、表彰状並びに感謝状が贈られた後、全20分団により一斉に水の弧が描かれた放水演習、海上自衛隊大湊音楽隊の演奏の



威風堂々の分列行進

と、力強くかつ整然とした分列行進が行われました。

その後、吉田市夫下北地域広域行政事務組合消防本部消防長より講評があり、続いて越善村長から各団員に対し「今年は既に4件の住宅火災が発生していることから、今一度新たな決意をもって、日常における防火思想の啓蒙と、災害の発生に対する日々の準備に努められ、一層精進されるよう願います」と訓示が述べられました。

火災や台風、地震など、非常時の災害に備えて日夜訓練に励む消防団は、私たちが安心して



一般協力者に対し感謝状が贈呈されました



観閲者に報告する濱端団長

生活できる環境を支えており、村民の信頼と期待が大きいところです。

今回表彰された方々を始め、団員の方々の長年の消防活動への取組とご功績、また、一般協力者の皆様のご協力に対し深く感謝いたします。



全20分団による放水演習



自動車ポンプ操法